

富士見の歴史講座 第一回 平成25年6月2日(日)10:00~12:00

## 「黒船来航」と「海防」

東海大学非常勤講師 神谷大介 氏

報告： H. S.

今回の講座資料を見て、自分の誕生西暦年マイナス100年にアメリカのビッドル艦隊コロンバス号・ヴィンセンス号が浦賀に来航したことに気がついた。川越藩士の内池武者右衛門がビッドル艦隊を乗り留めるために船で乗り出し、ヴィンセンス号に接舷し、腕木の鎖を伝わって乗艦、一番旗を掲げる。そしてビッドル艦隊を停船させるとともに、飲酒、船内見物、腕相撲などをして交流を図ったという（「先登録」という記録を残している・・・川越市立博物館所蔵）。

もうこれだけでの話で、親近感？で興味が倍増してしまった。



この講座に出席できなかった方のために  
1820年からペルー来航時点までの「海防」の重責を担っていた川越藩・忍藩の情報を講義資料から抜粋しておきます。

### 【海防】関連

- 天明6年(1786)林子平「海国兵談」←対外危機意識が高まる
- 文政3年(1820)異国船来航時の浦賀出兵を幕府より命じられる『浦郷陣屋』
  - 文政8年(1825)異国船打払令の発布
  - 天保8年(1837)アメリカ商船モリソン号来航・・・砲撃（浦賀奉行、川越藩・忍藩が対応）
  - 天保10年(1839)アヘン戦争勃発 → さらに対外危機意識高まる

●天保13年(1842)薪水給与令の発布<参考A：三浦・房総の海防体制>

※打沈め線

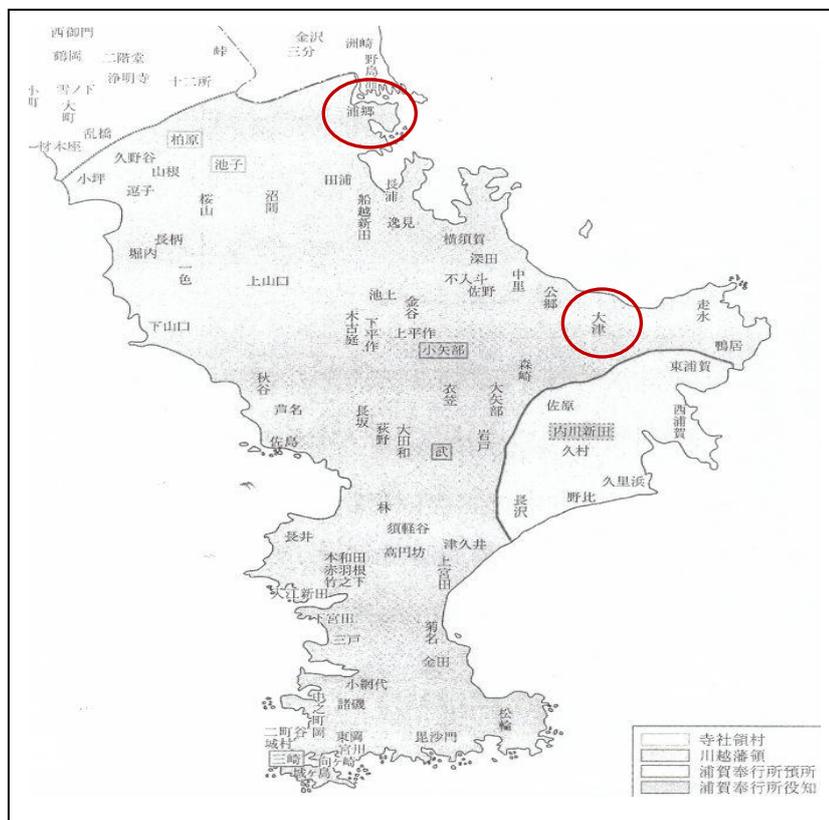
※乗留め線



■天保13年(1842)三浦半島一帯の警護を幕府より命じられる<参考B：1843年次の三浦半島の所領構成>

※浦郷

※大津



■天保14年(1843)『大津陣屋』建設を幕府に申請 → 同年、完成

川越藩の相州警衛の拠点／異国船情報の集約／地域社会との密接な協力関係の構築

●弘化3年(1846)アメリカ ビッドル艦隊の来航

デンマーク ガラテア号

<参考C：川越藩が動員した護衛船・水主>

船種	ビッドル来航		ガラテア号来航	
	碓居詰	三崎詰	碓居詰	三崎詰
押送船	816艘	287艘	154艘	75艘
輕船	152艘	68艘		37艘
天当船	2557艘	747艘	342艘	215艘
五大力船	53艘			
荷足船	47艘			
東海船	26艘	9艘		3艘
顔活船				12艘
350石積船	6艘			
江戸行早船	7艘		3艘	
富津行早船	1艘		2艘	
合計	3665艘	1111艘	501艘	342艘
水主	22657人	8875人	3245人	3238人

●嘉永6年(1853)アメリカ 東インド艦隊ペリー来航

・  
・

⇒1867年大政奉還、1868.9.8 明治となる